

こがねい未来通信

3



間もなく、文化、芸術、

スポーツ、食欲、読書等の秋を迎えます。市民の皆様にとって、今秋が有意義な季節になりますように願っています。市といえし、市民活動と連携した文化事業やスポーツ推進、読書の勧めや食育にも力を入れて取り組んでいきます。

さて、先月閉幕したリオデジャネイロ・オリンピックでは、連日、熱戦やドラマが伝えられました。私も、日本選手団や世界各国の選手、初めて結成された難民選手団の活躍やメッセージ等から、たくさんの感動をいただきました。選手皆さんの強い意志や最高のパフォーマンス、選手を支えている多くの方々の努力やドラマへの感動から多

くの方が勇氣や元氣をもらった大会であったと思えます。

そして次はいよいよ「TOKYO」という期待が高まっています。大半の日本代表選手の皆さんにとっては、試合終了のホイッスル、ゴールやフィニッシュも2020東京オリンピック・パラリンピックへのスタートなのだと感じました。「リオのゴールは東京へのスタート地点」です。市といえし、ゆかりの選手、皆さんを応援しつつ、2020年に向けた小金井市らしい取り組みを検討し、実行してまいります。

9月5日に、リオデジャネイロ・オリンピックに出場した鈴木選手、関根選手、谷口選手、日本郵政陸上部の高橋監督をお招きし

での報告会を開催し、貴重な体験を語っていただきました。今後も、このような機会を通し、東京オリンピック・パラリンピックの気運を高めていきたいと思えます。

開催中のリオデジャネイロ・パラリンピックには、小金井市在勤の吉田信一選手（情報通信研究機構NICT）が車いす卓球に挑んでいます。市内の子ども達のメッセージを集めた寄せ書きに、私は「夢に向かってスマッシューみんな応援しています！」と書きました。皆さんがこのコラムを読んでいるときには、もう結果が出ていることと思いますが、出身地である被災地福島のためにも「金メダルをめざす」吉田選手が持てる力を存分に発揮されることを願っています。

小金井市長

西岡真一郎